

第3回 豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成29年3月17日（金）午前9時30分～12時00分

場所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、村野委員、相場委員、佐野委員、近藤委員、
鈴木委員、岡村委員、永井委員

（株）地球号 面高設計室長

事務局：伏屋教育長、高木課長、青木課長補佐、岸田主査、神谷社会教育指導員

傍聴人：なし

1 委員長あいさつ

2 協議事項

（1）平成29年度 文化財保護委員会事業計画の承認について

- ・国指定史跡 戦人塚の土砂流出に伴う整備計画について30年度に工事を施行する。
- ・包蔵地等の試掘調査に立ち会う際は遺物があると考えられる箇所を採取して保護しておくことよい。
- ・大狭間湿地の用地取得は一般公開しているエリアの2,270㎡を対象とする。

（2）平成29年度 大狭間湿地保全計画の承認について

- ・保全整備委託を結ぶ豊明自然観察会からの保全計画書が提出され、承認される。昨年に引き続き10月に一般公開することで、季節限定の花を見学できる機会をつくる。

（3）戦人塚整備計画について

- ・3月8日の文化庁との話し合いを踏まえて30年度に施工する。
- ・観光協会の句碑は整備当初から無く、後から設置されたものであるため、撤去する。また樹木伐採後の切蕪と枯れた根を掘削して撤去する行為は現状変更となるため残しておく。
- ・塚の為、土盛が主となっている。昭和12年に国の史跡に指定にされていることから、昭和10年の写真をもとに原形に近づける方法をとる。これにより、石碑を下から拝むような状態にすべきであり、写真に写っていない上3段分の踏石とその横の手摺は必要ないとする。6月に行われる戦人塚供養祭で法要の仕方についても影響があるため、曹源寺住職や訪れる地元参拝者（前後区・西区）にも整備内容を確認してもらおうとよい。
- ・例年、住職がお経を読み上げる石段横の場所に芝を張るのがよい。また参拝者が戻る際に盛土が崩れないようにするため石段横については芝を張る必要がある。
- ・史跡階段口に設置する石碑標柱については国指定の文字を入れると重みがある。また、地域住民の文化財に対する意識も強くなると考えられる。国指定の文字を入れてよいか文化庁に確認するとよい。
- ・文化庁との話し合いの中で排水設備を現代工法（側溝）にした方が後世まで人工物であることが識別できてよいという意見であったが現況では排

水を史跡地外へ出す場所はない状況である。特に西側の土をさわると植栽に影響を与えるためよくない。既存の八事層の土は浸水性があるため土手を造成することにより土砂流出の防止となり、排水の対応も可能となる。

(4) 視察研修について

- ・視察先は10月に静岡県浜松市（地域遺産センター・国指定名勝 龍潭寺 井伊谷宮・共保公出生の井戸など）を予定。

3 その他

○市内歴史的建造物について

- ・建造物は町おこしとして一体として考えていく必要がある。
- ・市内の歴史的建造物の保存方法について事務局より他市の登録制度の要綱を照会。また、現存する建物を冊子またはホームページ上で記録として掲載している例もあるため、5月の文化財保護委員会で各委員から意見をいただく。

○平成29年度、30年度歴民企画展

- ・平成29年度企画展は「豊明に残る歴史の道（仮称）」と題し、中世鎌倉街道と近世東海道がどのように市内に残っているのかを展示する。
平成30年度企画展は「かけがえのない豊明の自然（仮称）」と題し、自然や気象を踏まえ市内の動植物がどのように生息しているか総論的に今と昔の変化を紹介する。

○市指定文化財 一之御前安産水調査について

- ・井戸水を掘ることについて30年度に予算要求をする。また、29年度に実施計画に上げる。

○平成29年度広報特別号掲載記事について

- ・歴民の企画展の行事に合わせた形で街道を取り上げる。（佐野委員と相場委員に協力依頼）。10月号に掲載する。

次回文化財保護委員会（臨時会） 平成29年5月12日（金）9時30分から
市役所東館 教育委員会室